

● アジア地区の演奏、交流、発表等について

山本純ノ介

アジア地区について。11月1～7日の一週間、日本で開催された「アジア音楽祭2014」日本作曲家協議会（以下JFC）主催を報告する。

会長は松下功。共催は横浜市・横浜みなとみらいホール・渋谷区。協力はArts Council Korea, 東京藝術大学、フェリス学院大学音楽学部、フェリス音楽教室。後援はイスラエル大使館、駐日韓国大使館、韓国文化院、駐日ベトナム社会主義共和国大使館。これらは助成、協賛のもとに4会場13公演の音楽祭として海外から作曲家80名程が参加。ソロ、室内楽、管弦楽、電子音楽など様々な編成の現代音楽作品、民族音楽が上演された。以下詳細を記す。

第一夜から三夜の会場は横浜みなとみらいホール。

1日は「オープニングコンサートーいろいろアジア」

パフォーマンス、演奏は、ダンスシアター加頭（韓国）、日本舞踊（立方）：花柳美輝風、尺八：友常昆山、菊池河山、箏：田中奈央一、Vn：澤 亜樹、高岸卓人、Va：樹神有紀、Vc：山澤 慧、Cl：西川智也、Ob：戸田智子、作品は、演奏順。沢井忠夫（日本）「華」、Jポディ（ニュージールランド）「キャラバン」、B・クロスマン（オーストラリア）「スピリットプレゼンス」、R・シャヒン（シリア）、高橋翔吾（日本）「ケイレン」独奏ヴァイオリンによる、Mハーディー・アヤンボッド（イラン）「スピリトゥス・マルティ」、シン・セオガン（韓国）「黄海空の手紙」、チュン・スンジェ（韓国）「四十奏曲」【平均率】

2日「オーケストラコンサート “アジアの風”」神奈川フィルハーモニー管弦楽団、指揮：矢崎彦太郎、尺八：福田輝久、琵琶：田原順子、ティンパニ：神戸光徳、Vn：水野佐知華、Pfm：ダンスシアター加頭（韓国）。

作品は梁志邦（香港 中国）「コロナ」、松尾 祐孝（日本）「悠久の書〜琵琶と弦楽のために」、セシリア・ヒージョン・キム「風が吹いて」、遼藤雅夫（日本）「風の塔」尺八とオーケストラのために、ラモン・バガヨン・サントス（フィリピン）「ルパッド」

3日「世界の子どもたちへ@横浜〜ピアノ連弾コンサート〜」が13時より小ホールにて開催。演奏協力はフェリス女子学院大学音楽学部、フェリス音楽教室によるピアノの連弾コンサート。鈴木豊乃（日本）「花見山の3つの歌」、木下大輔（日本）「こだま号で行こう！」、ジェンイ・チュウ（マレーシア）「3つの短いマレーのうた」、フリタ・ジェムスン（ニュージールランド）「サイバースペース」、御藤恵子（日本）「演奏会用作品〜連弾のための〜」鍋島佳緒里（日本）「子ねこのハンティング」、スーンミー・カン（韓国）「四つのうた」ユータボン・ピヤチャン（タイ）「平和の祈り」、喜納政一郎（日本）「キツキの歌」、蘇 凡凌（台湾）「祈禱曲」、タン・リユン（シンガポール）「静けさ」、大政直人（日本）「私のお気に入りVol.2」が演奏された。

続いて16時より「室内楽コンサート I」が小ホールにて行われた。Vn：清岡優子、村津瑠紀、Va：阿部 哲、Vc：山澤 慧、Cb：富永八峰、Fg：宮崎寿理、指揮：西田直嗣。

演奏作品は李 綺恬（台湾）「弦楽四重奏曲第一番「芥川龍之介の地獄変を読んで」〜青年作曲家賞受賞者招待作品〜、高橋幸代（日本）「白を映す碧」、ダン・チーフアン（マレーシア）「浮雲」、ヒユナ・キム（韓国）「漂流するノイズ」、小森俊明（日本）「ダイナモヴェーヴII」、篠田昌信（日本）「ディファレント テューンズII」

夜19時より、アジア作曲家連盟加盟国各国選出30歳以下の作曲家によるコンクール「ACL青年作曲家賞コンクールコンサート “DUO”」が行われた。

4日横浜赤レンガ倉庫 1号ホールにて、赤レンガ倉庫「電子音楽コンサート」14時30分からおよび「MALTA電子」が19時から。

マチネの演奏はCb：木村将之、尺八：田島謙一、Tbn：廣田純一、音響：有馬純寿、曾毓忠（台湾）「ピアノフォルテ」、福田拓人（日本）「同化」、陳明志（香港 中国）「千堆雪」、ビヤワット・ルイラップサート（タイ）「…プリーズ…」、岡本大典（日本）「独愼の風」、玉晶（中国/米国）「風化する時間の端」、パトリック・グナワン・ハルトノ（インドネシア）ケカピIIの作品が演奏された。

ソラは、Sax：MALTA、田村真寛、Pf：三木成龍、大野真由子、

Bas：木村将之、納 浩一、Dst：土屋吉弘、ジーン重村、音響：有馬純寿、宮沢正光により、エミリー・バイヤール（カナダ）「タイトルのない文章」、大谷安宏（日本）「バンバンサーキット」、菅野由弘（日本）「風の迷宮」、アンドリアン・ステップス（オーストラリア）「ジャイアントステップス」、ジャルマ・フェヘイラ「リカード・ボサノヴァ」、バード・ハワード「フライ・ミー・トゥー・ザ・ムーン」、MALTA（日本）「スウィート・マジック」が演奏された。

5日渋谷区文化総合センター大和田 さくらホールにおいて14時より、「室内楽コンサートII」を開催。Fl：長田みなみ、Cla：中南孝晃、Vn：宮川奈々、山懸郁音、Vn・Va：横島礼理、Vc：鎌田茉莉子、Pc：長屋綾乃、Pf：稲島早織、宮崎翔太、Cond：森山智宏により、リー・カー・ホン・バーナード（シンガポール）「永遠の先」、小川類（日本）「デュアリス〜プレリュード、フーガとバンク〜」、劉曉江（香港 中国）「棘」、鄭建文（台湾）「河に降る雪」、近藤春恵（日本）「フロタージュ」、李豊旭（台湾）「耐えられない苦しみと涙」、パティバーン・ジャイカンバン（タイ）「世界の終わり」が演奏された。

16時30分より同、伝承ホールにて、「笙・箏 ヴェトナム民族音楽コンサート」を開催。笙：真鍋尚之、箏：平田紀子により川島素晴（日本）「手遊び十七孔」、ディラン・ラルデリ（ニュージールランド）「ひきいろ」、吉沢検校（日本）「千鳥の曲」が、グループ「サンライズ」によりヴェトナムの民族音楽が7曲、演奏された。

19時より同、さくらホールにて、「室内楽コンサートIII」が開催された。

Pf：中川俊郎、声明：真言宗豊山派迦陵頻伽声明研究会により、真言声明の唄（ばい）、散華（さんげ）対陽付の伝統声明が演奏され、続いてハワード・ディロン（オーストラリア）「メビウス」メリー・カテリーヌJ.トランコ（フィリピン）「プーラン（月）」、陳以德（台湾）「湖畔の印象」中川俊郎（日本）「拈華微笑」（声明とピアノのソロのための作品）が演奏された。

6日の午前中には「ヤングコンポーザーフォーラム」が金子仁美講師により行われた。

13時、同、さくらホールにて「室内楽コンサート IV」が開催された。

Sp：金持亜実、Ten：佐々木洋平、Vn：谷口亜実、根来由実、Va：小倉 萌子、Vc：向井 航、Fl：北川森央、Cla：渡邊一毅、Tbn：梶原彰人、Pf：碓氷 敏樹、Cond：菅野 由弘により、デセオップ・ハン（韓国）「楽四重奏のための20Hz」、松岡貴史（日本）「かく遠くも 近くも」、森山智宏（日本）「歌曲集「恋の主題による3つのデッサン」」、潘世姬（台湾）「双溪の秋」、姚晨（中国）「惜り」の室内楽はどの作品も完成度が高く主張が明解。水準の高い好演。

19時から同、さくらホールにて、室内楽アンサンブル東風、指揮：ラーズロ・ティハニ、Vc：ヒレレ・ツォリ、Bcl：船木喜行により、ヤオ・チョウ・シェン（マレーシア）「なんの樹?」、オフィール・イルツェツキ（イスラエル）「ダテューラ」、ダン・ユハス（イスラエル）「テンアウト」、金子仁美（日本）「子どものまなざし」、潘皇龍（台湾）「一江風 ソロ・バスクラリネットと室内オーケストラのための協奏曲」が充実した演奏を行った。

7日最終日は紀尾井ホール。オーケストラコンサート「指揮者は作曲家」。東京フィルハーモニー交響楽団、和太鼓：林英哲、中国琵琶：蔣婷、タンバウ・カスティールス（シンガポール）「風に乗る」、早川正昭（日本）「月見高」、曾業發（香港 中国）「fm序曲」、ドー・ホン・クワン（ヴェトナム）

次は、東アジアの現代音楽祭2014inヒロシマ。現代作品等によるプロジェクト。この演奏会は広島からのメッセージを昨年「作曲家の現在」として発信。

中国側アドバイザーは中国放送相談役・広島県日韓親善協会名誉会長

本年初日はレクチャーで日本、中国、韓国の伝統楽器の紹介と解説。当時のアドバイザーは片桐 功音楽学・エリザベト音楽大学大学院音楽研究科長。演奏者は以下の通り。箏：北垣内秀響（日本）、古箏：周桃桃（中国）、カヤグム：宋英叔（韓国）、チャング：権恩卿（韓国）

コンサート1（演奏順序不同）

A.伝統楽器による室内楽作曲作品展

「韓国」李愛煉 Ae Lyun Lee: "yellow ribbon" for Gayageum sol (2014;世界初演) カヤグム：宋英叔Song Young Sook, 金恵子 Hye Ja Kim: "One night,Ode to an old master" for Gayageum and Janggo (2014;世界初演)、カヤグム:宋英叔Song Young チャンゴ:権恩卿Gyun Eun Kyung (中国) 敖昌群作曲「淡い夢 寒い烟」古箏ソロのために」(2014世界初演) 古箏：周桃桃、呉万新作曲『夜静琴声』古箏ソロのため

のた

めに「*听琴賦*」の印象」(2014世界初演) 古箏：周桃桃
〈日本〉近藤裕子作曲『*ナツツバキ～沙羅へ 十七絃箏のための*』
(2014) 十七絃箏：足達秀環, 丸彩和子作曲『*紺青～十七絃箏のため*
の』(2009) 十七絃箏：北垣内秀萌

B.現代室内楽作曲作品展

〈日本〉佐井孝彰作曲『*Fantasia II～ピアノソロのために*』(2012)
ピアノ：魚住 恵, 板本勝百作曲『*深海松*』～アルトフルート・ソ
ロのための (2013) アルト・フルート：万代恵子, 木下大輔作曲『*三
つの女の歌*』(2012) より2曲 “*花屋で*” (2012) 作詩：吉原幸子 “*問
い*” (2004) 作詩：新川和江 ソプラノ：大城 薫, ピアノ：伴谷真
知子, 浅野藤也作曲『*“Prelude” for piano*』(2014世界初演) ピアノ：
平本恵子, 二宮 毅作曲『*闌曲 第二番 Ultimately Song II for
Clarinet solo*』(2013) クラリネット：末永祐美子, 伴谷晃二作曲『*風
の詩 II - 余白の旅をもとめて～十七絃箏とパーカッションのため
に*』(2014世界初演) 十七絃箏：北垣内秀馨 パーカッション：荻
原里香

〈韓国〉朴銀荷作曲『*NONVERBAL for Baritone and Piano*』(2014
世界初演) バリトン：今田陽次, ピアノ：岡本佳子
コンサート2 (演奏順序不同)

日本・中国・韓国の友好と親善の伝統音楽コンサート

〈日本〉八橋検校作曲『*乱輪舌*』(江戸時代前期), 吉沢検校作曲『*千
鳥の曲*』(江戸時代後期) 箏 本手：北垣内秀馨, 千鳥の箏, 替手
は北垣内秀萌

〈中国〉周桃桃作曲『*鏡華・水月*』(2013), 王昌元作曲『*戦台風*』(1965)
の古箏：周桃桃

〈韓国〉『*韓国民謡 “アリラン” 変奏曲*』, 『*韓国宮廷音楽*』
(Cheonnyeonmanse) 『*韓国民謡 “カヤグム・サンジョ”*』(Gayageum
Sanjo of kim Byung-ho school) 他 *カヤグム*：宋英叔Song
Young Sook チャンゴ：権恩卿Gyun Eun Kyung

日本・ミャンマー外交関係樹立60周年事業として、12月2日演奏
会がヤンゴンミャンマー国立劇場で開催された。曲目はモーツアル
ト「*フィガロの結婚序曲*」, ショパン「*ピアノ協奏曲1番*」, ベー
トヴェン「*交響曲1番*」他にミャンマーの民謡「*シュエオージー*」「*ラ
ッティ*」*「ヤンベス*」等

演奏は指揮：山本祐ノ介, ピアノ：小山京子ミャンマーナショナル
シンフォニーオーケストラ。